

2025 年 3 月 31 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

トーセイ株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}）は、トーセイ株式会社（代表取締役社長 山口 誠一郎^{やまぐち せいいちろう}）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。本件は当社のサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークを用いた 2 回目のご融資となります。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、以下の SPT 達成状況に応じて優遇金利が適用されます。

SPT：2030 年度までに Scope1,2 を 50%削減（2022 年度比）

トーセイ株式会社は、「あらゆる不動産シーンにおいて新たな価値と感動を創造する」という企業理念のもと、中期経営計画「Further Evolution 2026」の基本方針において「環境・社会課題へのソリューション提供の拡大とサステナビリティ経営の推進」を掲げています。その一環として、再生可能エネルギーの活用や環境に配慮した設備の導入などの脱炭素施策を推進することで、SPT の達成、ひいては、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025 年 3 月 31 日
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行
資金使途	首都圏不動産の再生およびバリューアップに資するための資金

また、本ローンでは、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。